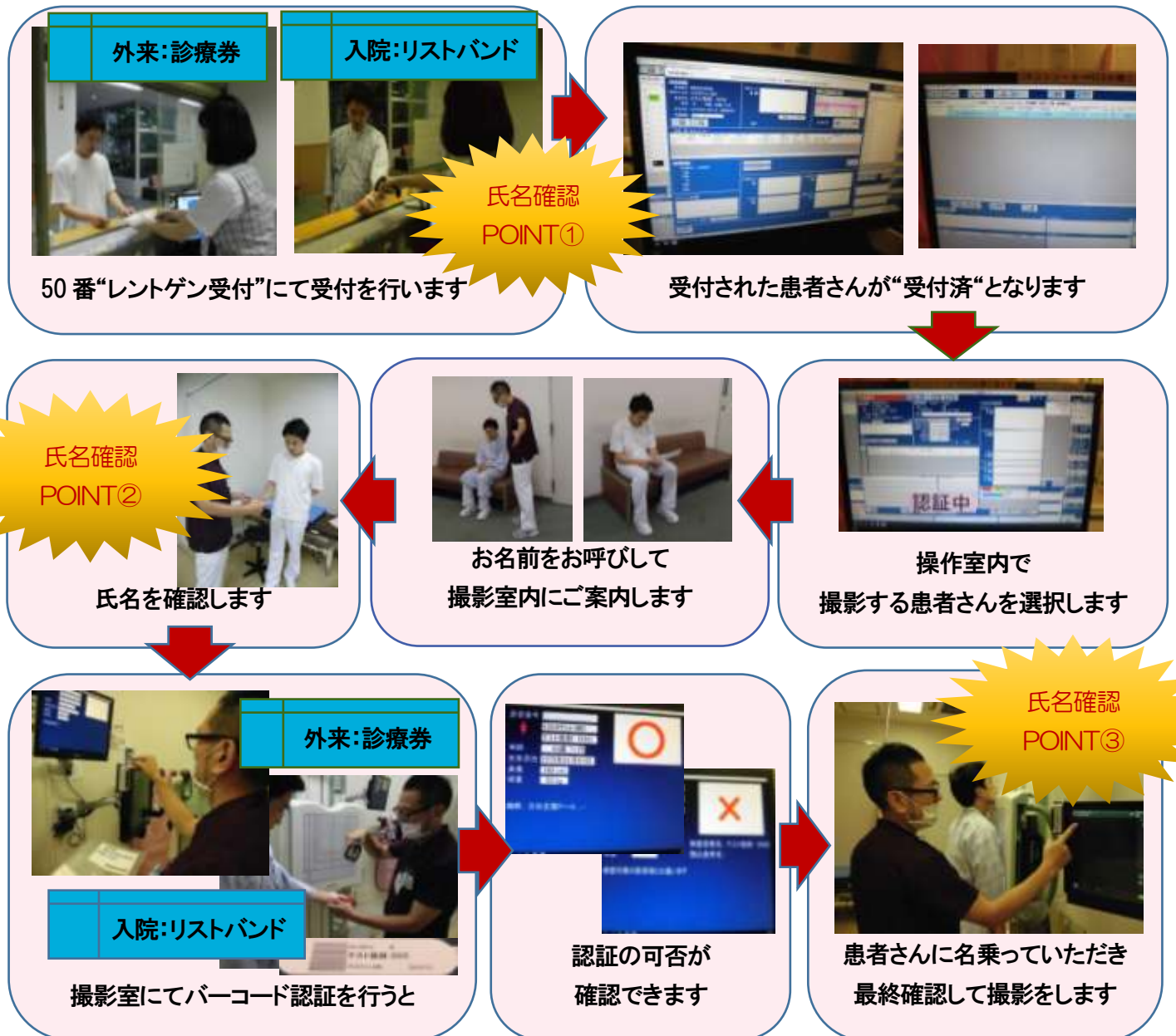


放射線科の裏側をのぞいてみよう！

放射線科

放射線科では患者誤認を起こさないため、撮影ごとに毎回認証を行っています。診療券もしくはリストバンドを使用し、患者さんの名前を撮影装置に登録後、お名前を名乗っていただき、最終確認してから撮影を行っています。以下はレントゲン撮影での一例です。



お手数おかけしますが、
患者誤認防止のためご協力をお願いします。



♪ お問い合わせ先 放射線科 ♪

♪ 多摩南三二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

喫煙と循環器疾患について



東京オリンピックを前に東京都でも店内や公共施設での原則禁煙など、喫煙に対する規制が強化されつつあります。喫煙者からすると「そこまでしなくても…」となるのですが、循環器疾患の立場からすると、健康を維持するにはやはり禁煙は非常に大切です。

喫煙は動脈硬化を進展させ、心筋梗塞などの虚血性疾患や動脈瘤などの発症を増やします(表1)。また、受動喫煙によっても20%以上増えることがわかっており、喫煙は家族や他人にも影響をあたえます。

一方、「もう、長いこと吸っているからいまさら禁煙しても遅いよ」と、おっしゃる方もいらっしゃいますが、心筋梗塞については禁煙すると速やかに死亡頻度が下がることが知られており(表2)、今日から禁煙することは、即あなたや周りの方の健康維持に好影響をあたえます。

(表1)

吸わない人の危険度を1とした場合の、喫煙者が突然死したり、虚血性心臓病にかかりやすくなる危険度(倍)

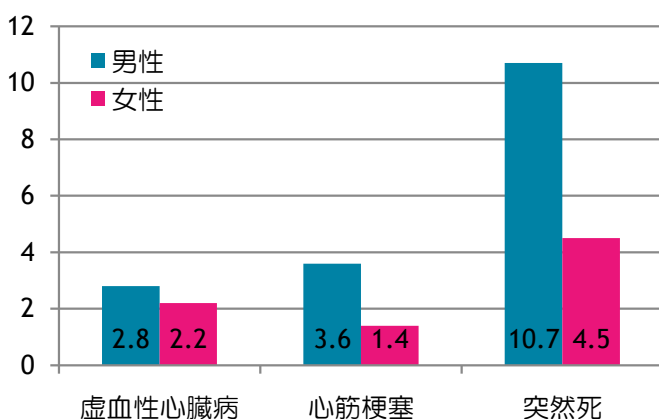
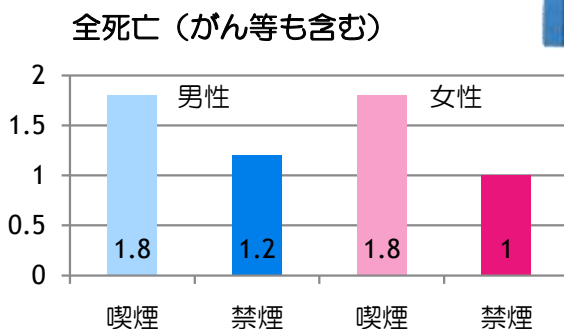
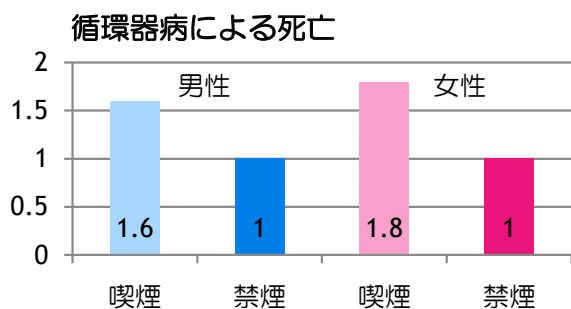


表 1.2 「Kannel WB, Higgins M: J Hypertens 1990;8(Suppl5):S3.」より

(表2)

吸わない人の危険度を1とした場合の、たばこを吸い続けた場合と、禁煙した場合の死亡率への危険度(倍)



そして、忘れてはならないのは、喫煙はたばこを吸わない周りの方へも悪影響を与えることです。喫煙者の家族にも間接喫煙(受動喫煙)によって循環器病やがんになるリスクが高いことが知られています。



喫煙されている方、さっそく今日から禁煙に挑戦してみませんか。